



教育目標 『笑顔あふれ つながり やり遂げる 南小の子ども』

新しい年が始まりましたが、すでに1月の下旬を迎えています。今年の干支は「うま」。インターネットで検索すると、火のパワー、エネルギー、情熱的、行動的、活動的、…といった言葉が並びます。今年に限ることではないですが、大人も子どもも何かにチャレンジする年にしたいものです。

2学期の後半は全国的なインフルエンザの流行で市内でも学級閉鎖の知らせが多く寄せられるなか、南小では流行もせず比較的健康に過ごせました。今年度の授業日は残り40日あまりとなっておりますが、健康に、有意義に、チャレンジ精神を持ってそれぞれの学年の最後を「笑顔あふれ つながり やり遂げる」時間として楽しみたいものです。なお、今回は2学期の教育活動の紹介ばかりとなります。(いつもに増して文字多めです。) ご了承ください。

インターネットにかかる研修会

2学期終盤のことですが、3~6年生を対象にネットに関する研修会を持ちました。滋賀県警察本部サイバー犯罪対策課の方が講師を務めてくださいました。高島市のメールサービス「リアルタイム高島」に登録していると、最近の傾向として「〇〇詐欺」に関する注意喚起が多くなったことを感じます。市内でも被害に遭われるケースが増えているようです。多くは大人が被害者になっているものですが、子どもの被害も増えており、滋賀県下でも年間に1,500件ほどの子どもの被害があり、その1割程度が小学生が被害者となるケースだそうです。県内でも3日に1人以上のペースで被害者が出ていることになりました。決して他人事ではありません。

さて、研修の内容ですが…

(1) インターネットの怖いところ

われわれの生活をとても便利にしているインターネットですが、使い方を誤ると困ったことが起こります。軽はずみな気持ちで投稿し、公開されたものは、その場所から消すことはできても、知らない誰かによって別のところで公開される恐れがあります。一度公開された内容は消すことができないと考えるべきです。また、自分の情報を乗っ取られて、自分になりすました誰かが犯罪に利用するケースもあります。警察や市役所職員などと偽って情報を聞き出したり、入力させたりして金銭を奪い取られるケースも後を絶ちません。

(2) ほんとうにあったインターネットトラブル

短い言葉で伝えるため、真意が伝わらずに誤解を生み、人間関係が崩れてしまう。憶測や誇張した表現により、特定の人を傷つけ、名誉棄損や侮辱罪に問われる。画像を投稿したことで背景にある看板や風景、制服などから学校や住んでいるところが特定され、犯罪に巻き込まれてしまう。などの事例について教えていただきました。精度の高いカメラで撮影すると、写真を拡大して瞳に反射した風景からも場所がわかる恐れがあると言われていました。これらはほんの一例に過ぎません。

(3) インターネットと上手につき合う

無料でできる範囲で楽しんでいたゲームに夢中になり、途中でやめにくくなり、課金を始めてどんどんエスカレートして高額な請求がやってくるという事例があります。金銭のトラブルだけでなく、インターネットには依存性があり、スマートフォンなどを身のまわりにおいておかないといられなくなります。

以前に「スマホ脳」という書籍を読んだことがあります。たいへん便利なものでありながら、睡眠障害、うつ、記憶力や集中力・学力の低下など、脳自体を変化させてしまうものでもあるスマホ。アップルの創業者をはじめ、IT業界のトップは我が子にデジタルデバイスを与えなかったそうです。現代に生きる私たちがスマートフォンなしで生活ができないことは実感しています。ただ、いかにうまくつき合っていくかが問われているのだと感じます。

2月 学校行事予定

2日 (月)	安全週間(～6日・避難訓練等)	16日 (月)	ジャンプアップ週間(～22日)
4日 (水)	図書館訪問貸出	17日 (火)	3小交流(1年)
6日 (金)	PTA理事会・新旧引継	18日 (水)	なわとび大会 学校運営協議会
9日 (月)	クラブ活動(3年生見学) ニセコとの交流(6年)	19日 (木)	研究会のため5校時下校
10日 (火)	入学説明会・体験入学	20日 (金)	3小交流(2年)
11日 (水)	建国記念の日	23日 (月)	天皇誕生日
12日 (木)	たてわり遊び	25日 (水)	3小交流(3年)
16日 (月)	クラブ活動	26日 (木)	6年ひびきあい活動

自分が好きなことを見つけよう!...『夢のきっかけ講座』

これも2学期末のことになりますが、12月17日『夢のきっかけ講座』を開催しました。これは、3~6年生の*キャリア教育の一環として、職業の異なる6人の方を学校に招いて、その仕事を選んだきっかけ、やりがい、苦勞、そして子どもの頃の自分を振り返って、今の小学生に伝えたいこと、などをお話ししていただきました。それぞれに異なる人生を歩まれている方のお話の概要を紹介させていただきます。

平井 翔 さん (農業)

子どもの頃からやりたいことがぶれずに農業の道へ。前年の土づくりから長い月日を経て新米ができ、直売して多くの人からの「おいしい!」の声をやりがいに、味・品質にこだわる米作りを追求することが楽しい。小学生には、あいさつに心がけ、友達を大切にするというメッセージを語っていただきました。



加藤 智彦 さん (ITサポート 舞台スタッフ 行政書士)

公務員の経験から「困りごと解決のお手伝い」ができればいいなと思い起業。中学や高校時代に好きなことに打ち込んだ思い出を振り返り、自分を新たなステージに立たせるべくとにかく経験すること、失敗をしてもいいから挑戦をすることで自分の世界は広がることを語っていただきました。



西沢 勝仁 さん (和洋菓子 製造・販売)

今は夢がなくても気にしなくていい。父と同じ仕事を選んだが、やらされていると感じてやるのではなく、考えて工夫してやってみることが「好き」につながり、積極的に取り組んでいる。あいさつ・返事・相槌を大切にすると人とかかわることが人間として成長につながることを語っていただきました。



徳島 陽子 さん (生命保険 外交員)

実際にあった一瞬にして家族の生活を変える悲しい出来事を紹介し、当たり前が急に当たり前でなくなることもあるから、すぐにできないと決めつけずに今を一生懸命に生きるために、どうしたらできるかを考えて「自分の目で見て、耳で聞いて、自分でやってみる」ことの大切さを語っていただきました。



西村 一真 さん (地域福祉・防災士)

10歳の頃に思いがけぬ大病に見舞われ、長期入院を余儀なくされ、人を支え役立つ仕事に憧れ、保育士資格を取得。一度は高島を離れて暮らしてみたものの、マキノから眺める琵琶湖が恋しく、愛する高島に戻って地域福祉や防災を通して住民のみなさんとかかわることのやりがいを語っていただきました。



内藤 ひとみ さん (観光レジャー業 マネージャー)

冬にも夏にも訪れたことがあり、箱館山を身近に感じてくれている南小の子どもの反応に感動。メタセコイアが多くの人を呼ぶことを予想した家族との思い出や高島にたくさんの観光客を呼ぶために日々工夫してそれを実現しようとしていることに触れ、自然いっぱいの高島を愛する思いを語っていただきました。



それぞれに職業は異なりますが、6名の方々が様々な経験を積んで、その経験と新たな挑戦に誇りを持って生きておられることがひしひしと伝わってきました。語りのなかで複数の方が述べられたことは、①自分が好きなことを見つけ好奇心を持って自分の世界を広げてほしい ②人の話を受けとめて、人とつながって生きていることを感じてほしい ③できないことも他人と比べず時間をかけてチャレンジしてほしい ④友達を大切に、そして生まれ育った高島を愛してほしい といった点です。それぞれにステキなメッセージを送っていただきました。

私ごとで恐縮ですが、6名のうち2名の方は、彼らの小学校入学当時から知っているというつながりもあり、彼らの語りを聴くことは実に感慨深いものでした。あんなに小さかった子が立派に社会人となって、子どもたちの前で話をしている。そして真剣な表情でその話に聴き入る南小の3~6年生の子たち、20年後あるいは30年後、この日学んだ子たちにもこんなチャンスが訪れ、未来の小学生に語っているかもしれない。そんな未来の夢を想像させてくれる、まさに『夢のきっかけ講座』となりました。講師のみなさま、ありがとうございました。

*キャリア教育…一人ひとりの社会的・職業的自立に向けて必要な力や態度を育て、人が生涯の中で様々な役割を果たし、自らの役割の価値や自分との関係を見出ししていくための基盤となる学習をキャリア教育と名づけ、学校教育に取り入れています。